

製品名: FAK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00400**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 119 kDa; Observed MW: 119 kDa

抗原情報

遺伝子名	PTK2 PTK2; FAK; FAK1; Focal adhesion kinase 1; FADK 1; Focal adhesion kinase-related nonkinase;
別名	FRNK; Protein phosphatase 1 regulatory subunit 71; PPP1R71; Protein-tyrosine kinase 2; p125FAK; pp125FAK
遺伝子 ID	5747
SwissProt ID	Q05397
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

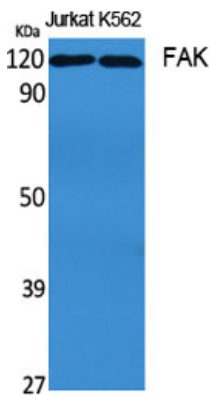
背景

この遺伝子は細胞質タンパク質チロシンキナーゼをコードしており、細胞外マトリックス成分の存在下で増殖する細胞間に形成される接着斑に集中して存在します。コードされているタンパク質はタンパク質チロシンキナーゼの FAK サブファミリーに属しますが、他のサブファミリーのキナーゼとは顕著な配列相同性がありません。この遺伝子の活性化は、特定の神経ペプチドまたは細胞と細胞外マトリックスとの相互作用に反応して誘導される細胞増殖および細胞内シグナル伝達経路において重要な初期段階である可能性があります。

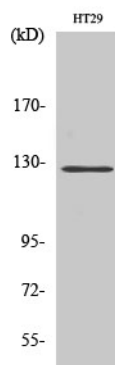
研究分野

心血管系

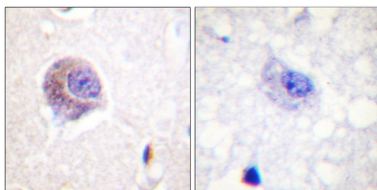
画像データ



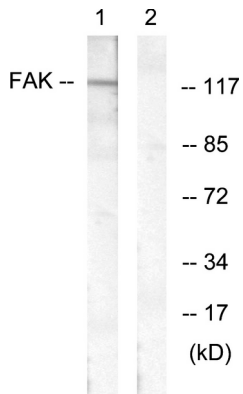
FAK 抗体を使用したさまざまな溶解物中の FAK のウェスタン ブロット分析。



FAK 抗体を使用した HT-29 溶解物中の FAK のウェスタン ブロット分析。



FAK 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプル。



FAK 抗体を使用した、EGF 処理した HeLa 溶解物中の FAK のウェスタンプロット分析。
右側のレーンは合成ペプチドでブロックされています。